

## アメリカへの留学の動向

アメリカには、全世界から多くの留学生がやってきます。主要国と日本からのアメリカへの留学生数の推移と、日本人大学院留学生の専攻分野別の内訳について分析します。

### 留学生在籍者総数の推移

図3に示された、世界各国からアメリカへの留学生総数<sup>\*2</sup>の推移をみてみると、1990年代半ばまでは、約1～5%の割合で増加を続け、90年代後半から若干増加率が伸びていることがわかります。2001年に起きたアメリカ同時多発テロ事件により、その後一時停滞の後に減少に転じます<sup>\*3</sup>が、その影響は薄れ始め、再び2005年頃を境に、増加に転じています。特に2007/08と2008/09は7%以上の上昇率と、90年代後半の上昇率以上で推移しています。

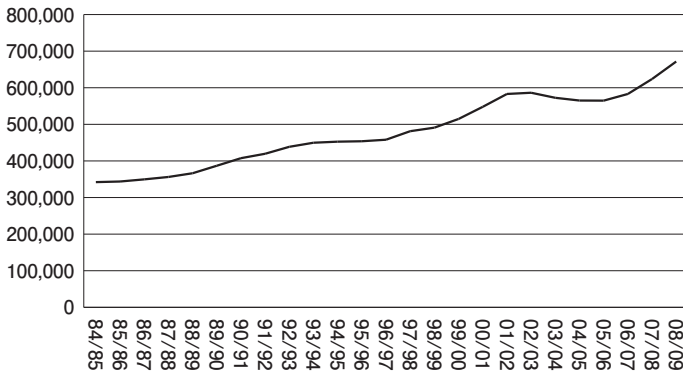


図3：アメリカへの留学生在籍者総数の推移<sup>\*2,\*4</sup>

### 主要国からの留学生数の推移

次に、1993/94～2008/09における、主要国からアメリカへの留学生全体数の推移(図4)を見てみましょう。1994/95～1997/98のあいだ、日本は第1位のアメリカへの留学生供給国でしたが、最高人数を記録した1997/98を境に、留学生数が再び増加した中国にその座を明け渡しています。その中国も、2005/06以降のインドからの留学生の急増により、2001/02以降は第2位に転じています。そして日本は、着実に留学生数を伸ばしている韓国には2001/02に、2008/09にはカナダにも追い抜かれ、日本からアメリカへの留学生総数は、2008/09現在第5位まで後退しています。台湾は90年代前半から減少が続きましたが、近年は若干持ち直しています。他の主要国をみてみると、イギリスはほぼ同数で推移、ドイツは2000/01をピークにやや減少傾向でしたが、再び回復の兆しが見えています。

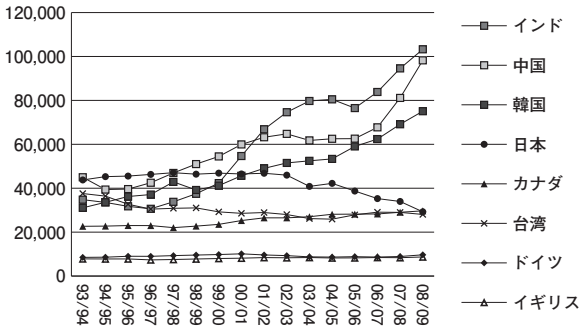


図4：主要国からアメリカへの留学生数推移\*2,\*4

### 日本人留学生の推移

図5に、日本からアメリカへの、学位レベル別留学生数の推移を示しました。1993/94～2002/03の間は、ほぼ同数で推移していると言えます。しかし、2001年に起きたテロ事件の影響からか、2002/03を境にして、在籍者数が大きく減少傾向に転じています。2002/03と2008/09の在籍学生総数を比較してみると、6年間で実に約17,000人も減少していることがわかります。

他国と比較した際、日本人留学生の特徴に、大学生が大学院生より圧倒的に多いという点が挙げられます。そのため、大学生の大幅な減少が、日本人留学生総数の減少に繋がっていることが、図5から読み取れます。また、大学院留学生も、2001年ころをピークに減少傾向にあることがわかります。日本国内の大学・大学院に進学する学生は、2005年ころまでは増えていましたが、それ以降はほぼ横ばい状態なので、アメリカへ留学する日本人の割合は、アカデミック区分に関係なく、減少傾向にあると言えます。また、世界各国からアメリカへの留学生数が増加傾向にあるため、日本はやや特異な傾向にあると言えます。ただし、ポストク留学は、全体的に微増・微減がありますが、ほぼ一定数で推移しているといえます。

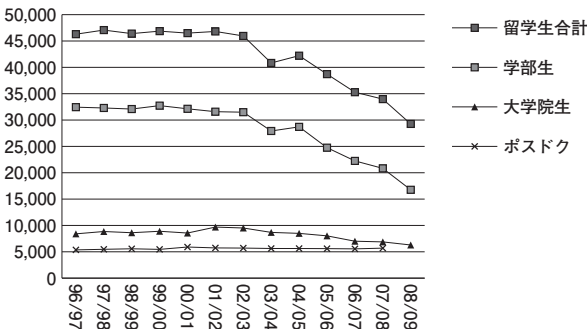


図5：学位レベル別に見た日本からアメリカへの留学生数の推移\*2,\*4

## 日本人大学院留学生の専攻分野

NSF<sup>\*5</sup>の調査によると、2009年春時点における日本人大学院留学生のうち、Science & Engineering（以下、S&E）分野専攻は2,110名、それ以外の分野専攻は3,100名ですので、S&E専攻率は40.5%です（図6）。さらに詳しいS&E専攻の内訳は、表2の通りです。S&E分野を統括するNSFの調査のため、非S&E分野の詳細はわかりませんが、その多くは、ビジネススクールやロースクールなどの、職業系大学院と予想されます。なお、表2には社会科学（Social Science）専攻も含まれているため、日本で一般的に言われる、理学・工学系を専攻している学生は、日本人大学院留学生全体のわずか2割強にとどまっています。

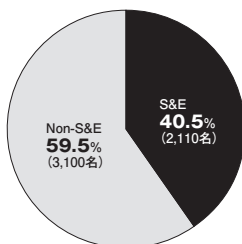


図6：日本人大学院留学生の専攻割合

Agricultural Sciences	70	3.3%
Biological Sciences	260	12.3%
Computer Sciences	100	4.7%
Engineering	320	15.2%
Mathematics	80	3.8%
Physical Sciences	210	10.0%
Psychology	190	9.0%
Social Sciences	890	42.2%

表2：日本人大学院留学生のS&E分野内の専攻人数<sup>\*6</sup>

\*2：大学生、大学院生、OPT、ビザを必要とする語学留学を含むその他の合計数。留学生合計にボドクは含まない。

\*3：在籍者総数の推移のため、減少するまでには時間にずれが生じていると考えられる。

\*4：Institute of International Education: Open Doorsをもとに作成。

\*5：National Science Board: Science and Engineering Indicators 2010

\*6：Physical Sciencesには、Astronomy、Chemistry、Physicsなどが、Social Sciencesには、Anthropology、Economics、History of Science、Linguistics、Political Science/Public Administration、Sociologyなどが含まれる。